



ももとせ

NURSING HOME HYAKURAKUEN

[特集：クローズアップ百楽園②]

介護部門の笑顔のひみつ「人に寄り添い、支える」

6人が語る百楽園の介護現場

トピックス

- ・サテライト便り
- ・デイサービス便り
- ・居宅通信
- ・ウエス募集

[令和7年度 事業計画 重点目標]

[新テーブル&イス! 座り心地、食べ心地、最幸です!]

[🚚 百楽園にやってきた! 無印良品「MUJI to GO」移動販売車]

[介護現場に革新を! CareLoopで、安心と効率を両立]

[つながる安心、百楽園LINE公式アカウント開設!]

クローズアップ百楽園②

登場人物：中本 介護係長(マロニエ通り担当)・松田 介護副主任(マロニエ通り担当)・川合 介護福祉士(マロニエ通り担当)・野々村 介護係長(さくら通り担当)・川島 介護副主任(さくら通り担当)・平沼 介護福祉士(さくら通り担当)



川合 介護福祉士

中本…人として判断すること、介護福祉士として判断することの難しさはありますが、介護福祉士には倫理綱領があるので、そこに立ち戻り考え行動します。更には自身の考えを持ったうえで、職員の意見や上司の助言を仰ぎ行動するようにしています。

インタビュアー…なるほど…倫理綱領が基にありケアにあたっているのですね。日々、頭と身体を使われていて大変だ…

では、最後にそれぞれの通りの部署長であるお二人の係長へ質問させていただきます。

今後、百楽園で実現したいことや目指している目標があれば教えてください。今度はマロニエ通りから教えてください。

中本…特別養護老人ホームは終の棲家として捉われがちですが、ゲストの皆さんが百楽園で生活していく中で少しでも自分で出来る残存能力に対して自立支援を促していきたいです。また、職員が働きやすい職場環境を目指し自分出来ることを考えて行きたいです。

インタビュアー…さくら通りは？

野々村…人生の最期を安心して穏やかに

がたつんですね。お二人は百楽園以外でも介護の経験をお持ちかと思えます。百楽園で働いていて『ここが他と違う』と感じる魅力を教えてください。

川合…サービスの充実さと外国人労働者の受け入れ、ICT導入による業務負担の軽減だと思えます。百楽園では様々なサービスを提供致しており、サービスが充実しています。また、人材不足を補う為に外国人労働者の受け入れやICT導入による業務負担の軽減を積極的に行っている点が魅力です。

平沼…職員の方が優しいです。また、他施設より電子カルテや、介護ロボットなどデジタル化が進んでいると思います。中でも床走行式リフト等の介護ロボットを積極的に導入されており、それらを活用することによりゲストの方にもサポーターである私達にも負担の軽減がなされていると思います。

インタビュアー…ありがとうございます。百楽園の魅力、より多くの方々に伝えるといいですね！

今度は介護経験も長い副主任、お二



中本 介護係長 松田 介護副主任

そんな介護を一緒に盛り上げていきましよう。

川合…介護の仕事は確かにきつい事が沢山ありますが、その分やりがいも沢山ある職業です。心身共に傷つく事がありますが、先輩職員が助けてくれます。皆さんもまずは興味を持つ事から始めて、それから介護と言う職業を目指して下さい。

川島…人の人生に寄り添う介護は大変なこともあります。感動や感謝など心を動かされる素敵でやりがいのある仕事です。「その人らしさ」を大切に思いを持った介護士を目指し頑張ってください。

松田…楽しい事、うれしい事はかりの仕事ではありませんが、介護に携わるからこそ得られる喜びや学びが山ほどあります。誰かの人生に深くかわる事ができるのも介護の魅力でもあります。学校で勉強している方も！経験を積んでいる最中の方も！興味がある方も！応援しています！そして一緒に悩み、笑い過ごしていきましょう！お待ちしています！

野々村…介護の仕事は、力仕事も多く体力や精神的にもタフでなければならぬと思います。人の命や人生に深く関わることや厚生院では資格取得制度もあり、経験値を積むことで活躍の場が広がります。やりがいや魅力を感じることが多くあり、是非ご興味のある方はお問い合わせください。

中本…函館厚生院では、小学生から高校生を対象に、福祉・介護の魅力を伝える「厚生院フクシ未来講座」を行っています。これは、職員を学校へ派



マロニエ通りクロストーク

介護部門の笑顔のひみつ「人に寄り添い、支える」— 6人が語る百楽園の介護現場

特別養護老人ホーム百楽園では、日々の生活支援の中で、一人ひとりの人生と向き合い続ける介護スタッフたちが活躍しています。介護現場の役職者4名と次の世代を担う2名に、介護への想いと実践の姿勢を語ってもらいました。お伺いした方々です。



平沼 介護福祉士

インタビュアー…本日は、ゲストの笑顔と生活を支える介護部門の皆様、いろいろお話を伺いたいと思っております。よろしく願いいたします。

相談部門一同…よろしく願いいたします。

インタビュアー…それではまず若手のお二人に伺います。介護の道に進んだきっかけを教えてください。

平沼…学校を卒業して他の職種で働いたのですが、直接人と関わる仕事がしたい！笑顔が見れる仕事がいい！という思いがきっかけで介護の道に進もうと思いました。

実際に働いてみて、自分の関わり次第で笑顔を見せてもらえたりするのは、自分自身の仕事に対する自信にもつながりました。

川合…曾祖母が関係しています。曾祖母は90歳を超えて一人暮らしをしておりました。そんな曾祖母の生活の助けになればいいなと思い、介護の道を進む事になりました。

インタビュアー…なるほど、お二人とも他者への「想い」から介護の魅力に繋がりました。

平沼…職員の方が優しいです。また、他施設より電子カルテや、介護ロボットなどデジタル化が進んでいると思います。中でも床走行式リフト等の介護ロボットを積極的に導入されており、それらを活用することによりゲストの方にもサポーターである私達にも負担の軽減がなされていると思います。

インタビュアー…ありがとうございます。百楽園の魅力、より多くの方々に伝えるといいですね！

今度は介護経験も長い副主任、お二



野々村 介護係長



川島 介護副主任

にお伺いします。

介護の仕事において、一番大切にしていることは何ですか？

川島…個々のゲストに寄り添った生活支援を行うことです。ニーズやバックグラウンドを知り、その人らしい生活が送れることを大切にしています。

松田…普通の生活を送れる関わりを大切にしています。ごはんを食べる事、お風呂にはいる事、トイレに行事、寝る事、笑う事。身体の衰えは食い止める事はできませんがその時、その人にとつての最善な生活ができるような関わり事を大切にしています。

インタビュアー…ありがとうございます。役職者の皆さんに伺います。日々、ケアにあたるなかでは喜びや悲しみばかりではないと思います。倫理的に迷うこともあるでしょう。倫理的に難しい場面に直面したとき、どのように考え行動しますか？まずさくら通りからお聞かせください。

川島…倫理観は人によって違いがあるため、他職種も含めケースカンファレンス

を開催し、ゲストの尊厳が保たれている事柄が検討しています。

野々村…価値観や人生観、モラルの違いから考えさせられる場面もあります。が、多職種でのカンファレンスや相手に対して説明する言葉や具体例をあげるなど誠意を尽くし丁寧説明を重ねていくと何か接点が見つかるのではないかと思います。

インタビュアー…ではマロニエ通りは？

松田…まずは客観的に状況把握し整理する事と相談、報告する事に努めています。どんな事でも自分の判断がこれで良かったのかと迷う事も多くあります。たくさんの人から意見を聞きながら日々学んでいます。



さくら通りクロストーク

新テーブル&イス！座り心地、食べ心地、最幸です！



新しいテーブル&椅子

このたび、食堂とデイサービスに新しいテーブルとイスを導入しました！

食堂には、昇降式テーブル「UFT-4T1890-NA-L2」（タック販売㈱）を30台。

デイサービスには同テーブル10台に加え、全ひじ付きハイバックチェア「Care-011-AC」（貞苧椅子製作所）を40脚入れ替えました。

個々の体格や状態に合わせて使えるこの新しい設備は、利用者の皆さんからも大好評。

食事の時間がもっと快適に、そして楽しくなりました！



食堂「ひとつの座席から、
たくさんの笑顔が広がります。」

利用者の声

「背もたれがしっかりしていて、長く座ってても疲れません」

（90代・女性利用者）

「高さがちょうどよくて、食べやすいんですよ」（80代・男性利用者）

「椅子の肘があると、立ち上がるのもラクで助かるのよね」

（70代・女性利用者）

百楽園にやってきた！無印良品「MUJI to GO」移動販売車

7月21日（月）、介護老人福祉施設「百楽園」に、無印良品の移動販売車「MUJI to GO」が来訪しました。

この移動販売車は、無印良品シエスタハコダテを拠点とする出張型の小さな無印店舗。

施設のご利用者や地域の方など、なかなか店舗まで足を運ぶことが難しい方々にも、日用品や暮らしの品々を手にとって選ぶ楽しさを届けたい——そんな思いから始まった取り組みです。

当日は、涼感のあるウェアやスキンケア用品、お菓子、文房具など、実に多彩な品揃え。ご入居者やご家族、スタッフも「こんな商品が来るなんて！」と興味津々で、笑顔のやり取りがあちこちで見られました。

買い物の喜びだけでなく、来てくれることそのものが励みになる。地域に“寄り添う”無印良品の姿勢に、温かい共感の輪が広がった一日でした。



2025年度（令和7年度）事業計画 重点目標

1. 自立支援・重度化防止の取り組み

- (1) 科学的介護の推進
- (2) アウトカム評価の活用
- (3) リハビリテーション、栄養管理及び口腔管理の連携・推進

2. 職場環境の改善

- (1) ICT 活用による業務効率化
- (2) ノーリフティングケアの推進
- (3) 「働きやすい介護の職場認証制度」認証に向けた取組

3. サービス向上への取り組み

- (1) 認知症への対応力強化、看取り対応の充実
- (2) 加算算定率の向上
- (3) キャリアパスに応じた研修参加
- (4) 実習・ボランティアの積極的受け入れ

4. 安全管理の推進

- (1) 協力医療機関との連携の強化
- (2) 感染症・災害への対応力強化

5. 経営の安定化

- (1) 空床期間管理の徹底・利用調整の迅速化
- (2) 法人内連携の強化（慢性期・老健・特定施設）
- (3) コスト意識の向上

6. 地域貢献活動

- (1) SDGs活動の推進
- (2) 地域貢献活動の実践・参画

（園長 水沢 宜史）

サテライト便り

思いをカタチに ― サテライトの個別外出レクリエーション

初夏の風が心地よくなり始める6月。サテライトでは、毎年10月までのあいだ、「個別外出レク」を行っています。

この外出レクは、ゲストご本人やご家族の「行きたい場所」の希望を丁寧に聞き取り、その願いをできる限り実現する取り組みです。ご自宅への一時帰宅、思い出の喫茶店、お気に入りのスーパー、昔通った場所へ――行き先は人それぞれ。そこに寄り添うのは、ご家族、そして職員です。

外出の機会が限られるなかで、「行きたい場所へ行く」「会いたい人に会う」ことは、ゲストにとって何よりも心が躍る時間。共に過ごすひときは、日常の中に差し込む光のように、かけがえのない瞬間です。そして、少人数だからこそ、ひとりひとりの想いにしっかり向き合い、かたちにするのだと私たちは感じています。



今回ご紹介する一枚の写真。

空港で遠方にお住まいの息子さんご夫婦、娘さんと合流し、売店をまわったり、展望デッキでソフトクリームを頬ばったりと、約1時間の再会を楽しめました。空港という特別な場所で交わされた笑顔や言葉が、ご本人にもご家族にも、きっと心の宝物になったことと思います。

これからも、ゲストの声に耳を傾けながら、“行きたい”を叶える旅のお手伝いを続けてまいります。

小さな外出が、大きな思い出となりますように。
(介護主任 金 亜矢子)

デイサービス便り

デイサービスセンター百楽園の自慢は、ただの運動じゃない「楽しい機能訓練」！フィットネスバイクでは、風を切って走る気分でペダルをこぎ、心も足腰もリフレッシュ。



園芸活動では、土いじりに夢中になりながら自然と手先も活性化。草花と会話しながら、気づけば笑顔と筋力がアップしている…そんな毎日です。

ご利用者の皆さまからは「これなら続けられる!」「楽しくて時間があっという間!」との声も。目指すは、元気でごきげんな100歳!これからも、笑いと運動のある毎日をお届けします。

利用体験も随時受け付けておりますのでお気軽にご相談くださいね～

(支援相談係長 小西 雄一郎)



介護現場に革新を!CareLoopで、安心と効率を両立

百楽園ではこのたび、介護現場の情報共有をよりスムーズにし、安心と効率を高めるICTシステム「CareLoop(ケアループ)」を導入しました。ご家族との連絡や同意手続き、帳票類の確認が、ご自宅にしながらスマホで簡単に行えるようになります。

【CareLoopでできること】

- ・サービス計画書の内容確認・同意
- ・請求書・領収書などの帳票閲覧
- ・ご家族への定期連絡・状況報告
- ・施設からのお知らせをスマホで即時受信
- ・ご利用者ごとの支援履歴や記録の共有(ご家族向け情報)

【活用シーンの一例】

- ・離れて暮らすご家族が、スマホで計画書の同意をすぐに送信
- ・毎月の請求書を紙ではなくスマホで確認・保存
- ・施設での様子や体調の変化を写真付きで共有
- ・サービス内容に変更があった際、即時にご家族に通知

CareLoopのご利用には、百楽園LINE公式アカウントの登録が必要です。
下記記事のQRコードからご登録のうえ、ぜひご活用ください!

CareLoopのスマホ画面・通知の流れ



LINE登録方法



つながる安心、百楽園LINE公式アカウント開設!

このたび、特別養護老人ホーム百楽園では、LINE公式アカウントを開設いたしました!ご家族の皆様やデイサービスをご利用のゲストご本人と、よりスムーズであたたかいコミュニケーションができるよう、日々の情報発信や個別対応の窓口として活用してまいります。

【できごと一覧】

- ・お知らせの配信(行事案内・感染症情報・空き情報など)
- ・写真付き活動報告(日々のレクリエーション風景をお届け)
- ・チャットでのご相談や質問受付
- ・個別対応メニュー(担当職員とのやりとりなど)
- ・緊急時の一斉通知機能

【想定される活用シーン】

- ・「今週のレク、こんなことしてました!」という写真がスマホに届く
- ・「デイの送迎時間の変更についてすぐ確認できた」
- ・「施設からのお知らせを見逃さず安心」
- ・「体調の様子について気軽に職員とやりとり」
- ・「急な発熱時など、家族への連絡がリアルタイムに」

【ご登録方法】

右記QRコードを読み取っていただくか、「特養 百楽園」でLINE内検索いただくでご登録いただけます。

※登録だけでやり取りは開始されません。

チャットはいつでもスタートOK!



▲百楽園
公式マスコットキャラクター
ひゃくらくだ
©SWC Hyakuraku 2025



▲サテライト百楽園
公式マスコットキャラクター
サテライオン
©SWC Hyakuraku 2025



居宅通信

【ケアマネジャーが支える“あなたらしい暮らし”】

百楽園には4名のケアマネジャー（介護支援専門員）が在籍しています。

介護に不安を感じたとき、ご本人やご家族の声に寄り添い、その方に合った「ケアプラン（介護サービス計画）」を無料で作成します。



◆ケアマネジャーとは？

介護保険サービスの“案内人”。

「どんなサービスを、どう使えばいいのか？」

そんな疑問や不安に寄り添い、必要なサービス事業者との調整もすべてお任せいただけます。

◆ケアプランができるまで

利用相談：生活の希望や困りごとをじっくり伺います。

サービス調整：訪問介護・デイサービスなどと連携して準備を進めます。

プラン作成・同意：計画内容をご説明し、ご本人・ご家族の同意を得てスタート！

✳ケアプランの作成は無料（介護保険で全額負担）です。

「介護、どうしよう…」と感じたら

いつでも百楽園のケアマネジャーへご相談ください。

（介護支援専門係長 岸田 理架）

募 集

ご家庭に眠る古布が役立ちます！ウエス募集のお知らせ

使わなくなったタオルやシーツなどが、新たな用途で大活躍します！当施設では、清掃等に使用する「ウエス（雑巾代わりの布）」を募集しています。ご家庭で不要になった布製品をぜひご提供ください。

ウエスに適した布

- ✓ 綿素材の布（タオル、シーツなど）
- ✓ 洗濯済みで汚れが少ないもの
- ✓ ボタンやファスナーが付いていないもの（取り外せばOK）

ウエスに向かないもの

- ✗ 下着・肌着
- ✗ 化学繊維が多いもの（フリース・ナイロンなど）
- ✗ 汚れがひどいもの

ウエスを活用することで…

- 🌱 環境に優しい → 廃棄物を減らし、リサイクルに貢献！
- 🏢 施設の清掃や作業に役立つ → タオルなどが汚れ拭きとして活躍！
- 💡 誰でも簡単に支援できる → 不要な布を有効活用！

ご提供いただける方は、ご一報のうえ施設にお持ち込みください。

皆さまのご協力をお待ちしております！ 💚💡